

平成14年度全国高校総合体育大会第55回全国高等学校バスケットボール選手権大会

平成14年 8月2日 (金)

会場 豊浦中学校体育館

【男子の部】 第1日目 Lコート 第2試合

チームA 県立黒沢尻工業 岩手	25 1Q 16 30 2Q 17 23 3Q 13 15 4Q 25 OT	{ }	71	チームB 横浜商科大学 神奈川
-------------------------------------	--	-----	----	-------------------------------------

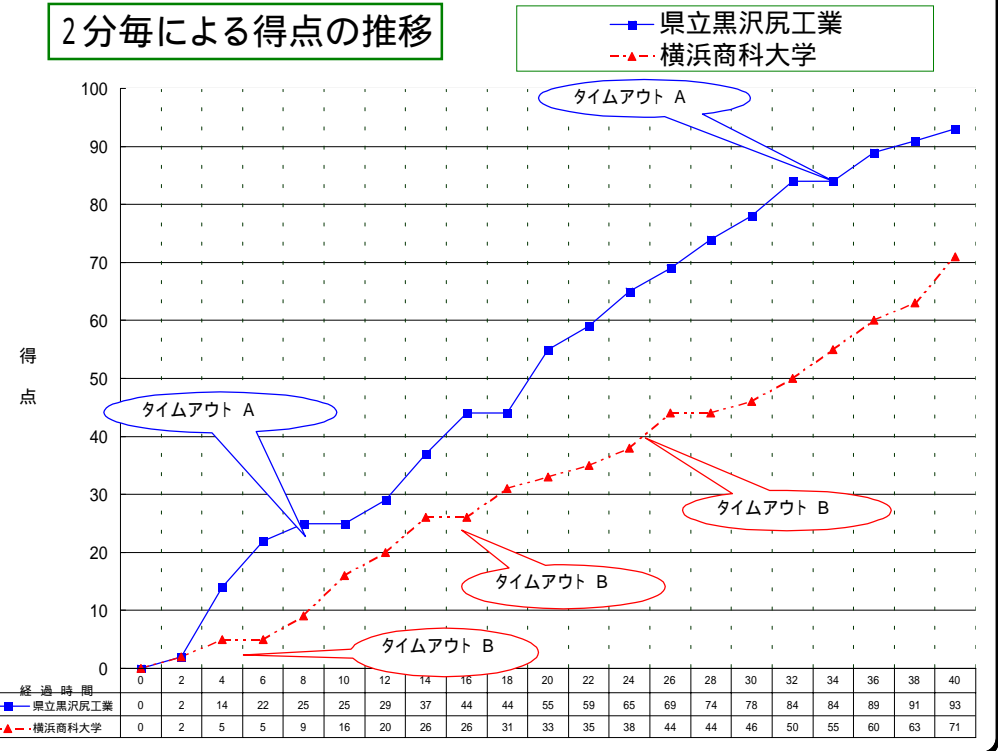
県立黒沢尻工業

番号	氏名	得点	3P		2P		1P		反則	リバウンド		ターンオーバー	スチール	アシスト	ブロックショット	出場時間 単位:分
			成功	試行	成功	試行	成功	試行		OF	DF					
4	平野真太郎	15	1	3	6	7	0	0	2	2	0	2	0	5	0	29
5	藤原 源太	11	3	7	1	2	0	0	0	0	4	0	1	0	0	30
6	明戸 一真	21	1	3	9	11	0	2	1	3	1	0	1	0	0	25
7	長谷川 武	26	0	0	10	12	6	7	3	2	10	1	1	3	2	29
8	高橋 翼	7	1	8	1	1	2	2	1	0	3	0	0	0	0	9
9	小野寺慶起	4	0	0	2	2	0	0	2	0	2	2	5	5	0	24
10	金澤 聖士	0	0	0	0	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	4
11	稲垣 和寿	0	0	0	0	0	0	0	2	0	1	1	0	0	0	5
12	藤原 純	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	5
13	山影 雄大	2	0	3	1	1	0	0	1	0	1	0	0	0	0	10
14	佐々木直人	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	3	1	2	0	13
15	児玉 佑介	7	0	0	3	5	1	1	3	0	5	5	3	0	1	17
コーチ	後藤 靖宏								0							
		93	6	24	33	43	9	12	16	7	28	14	12	15	3	200
		確率	25.0%		76.7%		75.0%									

横浜商科大学

番号	氏名	得点	3P		2P		1P		反則	リバウンド		ターンオーバー	スチール	アシスト	ブロックショット	出場時間 単位:分
			成功	試行	成功	試行	成功	試行		OF	DF					
4	中田 憲吾	11	2	11	2	7	1	2	0	0	5	5	1	3	0	35
5	小林 裕和	13	3	14	2	6	0	0	3	3	6	1	3	1	0	40
6	川村 雅史	8	0	0	4	6	0	0	4	1	2	2	0	0	0	36
7	嶋中 良	23	2	7	8	22	1	2	0	3	1	3	4	2	0	40
8	渡辺 広太	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1	0	0	0	6
9	金子 圭	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2
10	木村 庄吾	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
11	浅野 崇史	16	0	0	6	10	4	6	3	7	4	1	2	1	0	32
12	上奈 泰正	0	0	0	0	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	8
13	斉藤 一平															DNP
14	平山 貴久															DNP
15	斉藤 康彦															DNP
コーチ	茂木 信								0							
		71	7	32	22	52	6	10	11	15	18	13	10	7	0	200
		確率	21.9%		42.3%		60.0%									

2分毎による得点の推移



戦評

ハーフコートマンツーマンディフェンスの横浜商大に対し、黒沢尻工は、オールコート2-2-1ゾーンプレスからのハーフコート1-3-1ゾーンディフェンスを敷く。
 第1P、黒沢尻工のオールコート2-2-1ゾーンプレスが機能し、25対16と黒沢尻工がリードする。横浜商大は、黒沢尻工の1-3-1ゾーンディフェンスを攻め切れず、#7嶋中の1対1しか決め手がなく、苦しい展開をしいられる。
 第2P、黒沢尻工のセンター#7長谷川が攻守においてゴール下を支配し、55対33と黒沢尻工がリードを広げる。
 第3P、横浜商大は、オールコート1-2-1-1ゾーンプレスを敷き追い上げを図るが、黒沢尻工は、ガード陣が冷静にゲームをコントロールし、#6明戸の連続得点などで逆にリードを広げる。
 第4P、横浜商大は、#5小林の連続3Pシュートや#7嶋中の個人技で追い上げを見せるが、結局、93対71で黒沢尻工が勝利した。黒沢尻工の#7長谷川が圧倒的な存在感を見せた試合だった。

主審 平川孝彦

副審 野津克博

記入者 石津哲治